

日本測地学会第 142 回講演会プログラム

期日：2024 年 10 月 30 日（水）～ 11 月 1 日（金）

場所：大和ミュージアム(10/30-31)、ビューポートくれ(11/1)

主催：日本測地学会，協力：大和ミュージアム

講演会予定表

	10 月 30 日（水）	10 月 31 日（木）	11 月 1 日（金）
9	開場：9:00	開場：9:00	開場：8:30
	開会宣言（9:25-9:30）	口頭（海洋） （30-34） 9:15-10:30	口頭（SAR・地球回転） （49-55） 9:00-10:45
10	口頭（地震(1)） （01-04） 9:30-10:30		
	休憩	休憩	
11	口頭（地震(2)・火山(1)） （05-10） 10:45-12:15	口頭（テクトニクス(1)） （35-40） 10:45-12:15	休憩
			口頭 （GNSS(2)・テクトニクス(3)） （56-61） 11:00-12:30
12	昼休み 12:15-13:30	昼休み 12:15-13:20 ／評議会 12:20-13:20	昼休み 12:30-13:45 ／学生による講演会優秀発表賞 選考会議 12:40-13:20
		ポスターコアタイム （P01-P35） 13:20-14:45	
13	口頭（火山(2)） （11-15） 13:30-14:45		口頭（GNSS(3)） （62-66） 13:45-15:00
	休憩	休憩	
14	口頭（情報科学） （16-20） 15:00-16:15	口頭 （テクトニクス(2)・GNSS(1)） （41-46） 15:00-16:30	休憩
	休憩		口頭（計測） （67-72） 15:15-16:45
15	口頭（重力） （21-25） 16:30-17:45	休憩	学生による講演会優秀発表賞受賞 者発表・閉会宣言 16:45-17:00
	休憩	坪井賞授賞式・坪井賞記念講演 （47-48） 16:45-18:00	
16	口頭（GGOS） （26-29） 18:00-19:00		
		懇親会（19:00-21:00）	
17			
18			
19			

【口頭発表】発表時間は 1 件 15 分(発表 12 分、質疑応答 3 分)とします。発表者は個人の PC から HDMI 接

続での発表になります。会場：10/30-31:ギャラリー(4 階)、11/1:大ホール(3 階)

【ポスター発表】コアタイム:10月31日(木) 13:20～14:45 (掲示開始は30日(水)以降、掲示終了は31日(木)まで) ポスターボードは横170cm、縦110cmです。高さは180cm程度まで可です。会場:ギャラリー

【懇親会】10月31日(木)19:00～21:00 呉阪急ホテル 4F「皇城の間」で行います。

【評議会】大和ミュージアム4階会議室で実施。食事禁止です。

【学生による講演会優秀発表賞選考会議】ビューポートくれ 大ホール控室で実施。飲食可です。

【事前参加登録】講演会に参加される方は、10月11日(金)までにGoogleフォーム (<https://forms.gle/NrMuWXHvy48ZYAMd7>) を用いて事前登録をお願いします。

(#:発表者, *:学生)

2024年10月30日(水)

開会宣言 (9:25-9:30)

地震(1) (9:30-10:30)

座長: 田中優介

01 9:30-9:45

西南日本のGNSS地殻変動時系列の深層学習によるスロースリップの自動検出

#田中優介, 加納将行, 矢野恵佑

02 9:45-10:00

駿河トラフにおけるやや長期的な浅部スロースリップイベント:GNSSに基づく検出とすべり分布推定

#菊地祐次*, 三井雄太, 加納将行

03 10:00-10:15

沖縄本島周辺におけるSSE検出の試み

#畔蒜尚幸*, 西村卓也, 宮崎真一

04 10:15-10:30

A mysterious shallow slow slip event beneath the southern Ryukyu forearc

#Chi-Hsien Tang, Ya-Ju Hsu, Yutaro Okada

Yusaku Ohta, Takeshi Sagiya

Yoshiaki Tamura, Takaaki Jike

-休憩-

地震(2)・火山(1) (10:45-12:15)

座長: 西山竜一, 小澤拓

05 10:45-11:00

ハイレートGNSSデータを用いたスロースリップイベントの検出と時空間発展の考察:数値実験と房総半島付近における事例

#新井璃子*, 三井雄太

06 11:00-11:15

神岡レーザーひずみ計で観測された能登群発地震の地震直前変動の解析

#室伏龍真*, 新谷昌人, 高森昭光

07 11:15-11:30

稠密測地観測にもとづく2024年能登半島地震の地震時すべり分布と断層幾何の定量評価

#山田太介*, 太田雄策, 西村卓也

平松良浩, 木下陽平, 吉田圭佑

08 11:30-11:45

点圧力源による円錐地形の非軸対称変形

#西山竜一, 小濱瑞希, 風間卓仁

09 11:45-12:00

有限要素法を用いた地上重力変化の数値計算:2015年桜島ダイク貫入イベントを例に

#小濱瑞希*, 風間卓仁

10 12:00-12:15

火山観測用可搬型レーザー干渉計(SCOPE)による地殻変動検出:観測事例と今後の課題

#小澤拓, 宮城洋介, 奥山哲, 姫松裕志

昼休み (12:15-13:30)

火山(2) (13:30-14:45)

座長: 村瀬雅之, 道家涼介

11 13:30-13:45

精密水準測量によって検出された御嶽山の上下変動
(2023-2024年)

#村瀬雅之, 前田裕太, 堀川信一郎, 浅井岬
金幸隆, 竹脇聡, 及川純, 手操佳子
谷田部史堯, 弘田瑛士

12 13:45-14:00

Inversion of InSAR data based on fictitious domain
method for modeling surface deformation related to
volcanic activity, considering medium heterogeneities

#Micaela Colavita*, Yo Fukushima, Valerie Cayol
Satoshi Miura, Farshid Dabaghi, Olivier Bodart

13 14:00-14:15

北海道東部屈斜路カルデラおよび阿寒カルデラにお
ける繰り返し相対重力観測

#岡大輔, 岡崎紀俊, 高橋浩晃
大園真子, 名和一成

14 14:15-14:30

InSAR 時系列解析による雲仙溶岩ドームとアナク・ク
ラカタウ島における長期間の安定的な変動の検出と
その比較

#笠井隼稀*, 高田陽一郎, 松島健, 高木朗充

15 14:30-14:45

干渉 SAR による岩木山西側斜面の変位と追子森断
層

#道家涼介, 黒澤英樹

-休憩-

情報科学 (15:00-16:15)

座長: 矢野恵佑, 加納将行

16 15:00-15:15

局所地域から全球スケールに適用可能な地殻ブロッ
クの同定法: 台湾の GNSS データへの適用例

#矢野恵佑, 高橋温志, 加納将行

17 15:15-15:30

深層学習を利用した GNSS 変位空間補間器の実装と
非地震性断層すべり推定

#中川亮*, 福島洋, 加納将行, 矢野恵佑
平原和朗, 田中優介, 岡田悠太郎

18 15:30-15:45

物理法則を組み込む深層学習 PINN による Inplane 地
殻変動解析

#岡崎智久, 平原和朗, 伊藤武男
加納将行, 上田修功

19 15:45-16:00

データ同化を用いた断層すべりの現状把握と短期推
移予測手法の開発: 2010 年豊後水道長期的スロース
リップイベントへの適用

#加納将行, 田中優介, 佐藤大祐, 飯沼卓史, 堀高峰

20 16:00-16:15

物理深層学習を用いたスロースリップイベント発生域
の摩擦特性空間分布推定

福島陸斗, #加納将行, 平原和朗, 大谷真紀子
Kyungjae Im, Jean-Philippe Avouac

-休憩-

重力 (16:30-17:45)

座長: 田中愛幸, 松本晃治

21 16:30-16:45

2023 年 5 月 5 日の M6.5 奥能登地震に伴う重力変化

#田中愛幸, 西山竜一, 新谷昌人, 坂上啓
中小路一真, 高田大成, 西村卓也
平松良浩, 澤田明宏

22 16:45-17:00
人工衛星重力ミッション高度化へ向けた、非線形レオロジーを考慮した粘弾性変形理論の開発(II):
Nonlinear Burgers model への拡張
#中小路一真*, 田中愛幸, Volker Klemann
Zdeněk Martinec

23 17:00-17:15
粘弾性変形の時間変化における自己重力の効果
#西上直志*, 風間卓仁

24 17:15-17:30
複数地点の相対重力連続観測で検出された2022年
トンガ火山噴火の大気圧変動に伴う重力変化
#小田雄大*, 風間卓仁, 本多亮, 三浦哲

25 17:30-17:45
MMXによるフォボス形状モデリング観測運用の検討
#松本晃治, 菊地翔太, 平田成
池田人, 竹尾洋介, 神山徹
MMX 測地学科学戦略チーム
-休憩-

GGOS (18:00-19:00)
座長: 高松直史, 宮原伐折羅

26 18:00-18:15
基準座標系の違いがF5解へ及ぼす影響の評価
#高松直史, 宮崎隆幸, 村上真亮
橋本繭未, 若杉貴浩, 中川弘之

27 18:15-18:30
MADCOCAを用いたマルチGNSS軌道情報の公開と開
発状況
#吉永光樹, 大野圭太郎, 高松直史
秋山恭平, 河手香織, 五十嵐祐貴

28 18:30-18:45
石岡測地観測局におけるVLBI観測機器の更新
#栗原忍, 本田昌樹, 石垣真史, 堀草子
古居晴菜, 松本紗歩, 橋本果歩

29 18:45-19:00
国連地球規模の測地連携拠点の活動-持続可能な地
球規模の測地サプライチェーンに向けて-
#宮原伐折羅

2024年10月31日(木)

海洋 (9:15-10:30)
座長: 木戸元之, 松尾功二

30 9:15-9:30
内部重力波がつくる海中音速場の上下振動とGNSS-
音響観測での走時計算への影響について
#木戸元之

31 9:30-9:45
Simulation analysis of survey system and ocean
conditions affecting GNSS-A observation accuracy
#Ming Zhang*, Yusuke Yokota

32 9:45-10:00
飛行艇型無人航空機によるGNSS-A観測の実証
#吉住優懂*, 横田裕輔, 金田政太, 山浦秀作
亀田友里, 井上智裕, 河野賢司

33 10:00-10:15
GNSS-A観測中のウェーブライダーの転覆頻度
に対する波浪の向きとヘディングの関係について
#村井菜々海*, 木戸元之, 飯沼卓史, 中東和夫

34 10:15-10:30
黒潮大蛇行によって生じる地殻変動
#松尾功二, 服部晃久, 宗包浩志

-休憩-

テクニクス(1) (10:45-12:15)

座長: 大園真子, 岡田悠太郎

35 10:45-11:00

CSESS の稠密 GNSS 観測網でみる全国地殻ひずみ
分布概観

#大園真子, 太田雄策, 大館未来, 高橋浩晃

36 11:00-11:15

高空間分解能な地震間地殻変動観測に基づく中央構
造線(四国東部)の断層ジオメトリ推定

#下妻康平*, 木下陽平, 矢部優, 落唯史

37 11:15-11:30

黒部ダムの GNSS 観測から見る飛騨山脈の隆起運動
#鷺谷威

38 11:30-11:45

2024 年能登半島地震に伴う飛騨山脈の局所の変形:
超稠密 GNSS の適用

長岡頌悟, #高田陽一郎, 西村卓也
鷺谷威, 太田雄策

39 11:45-12:00

InSAR と超稠密 GNSS を用いた地震間歪速度場推定
の試み: 中部日本への適用

#長岡頌悟*, 高田陽一郎, 西村卓也
鷺谷威, 太田雄策

40 12:00-12:15

アラスカ州コディアック島周辺におけるプレート間すべ
り速度の時空間変化

#岡田悠太郎, 西村卓也, Jeffrey Freymueller

昼休み (12:15-13:20)

評議会 (12:20-13:20)

ポスターコアタイム (13:20-14:45)

P01-P35

テクニクス(2)・GNSS(1) (15:00-16:30)

座長: 富田史章, 伊藤武男

41 15:00-15:15

GNSS 音響観測から示唆される根室沖でのすべり欠
損

#富田史章, 太田雄策, 木戸元之, 大園真子
高橋浩晃, 日野亮太, 飯沼卓史

42 15:15-15:30

2024 年能登半島地震の地震後地殻変動における粘
弾性緩和と余効すべりの寄与-超稠密 GNSS 観測網
による検証-

#大館未来*, 太田雄策, 三井雄太

43 15:30-15:45

InSAR と GNSS を用いて検出した台湾東部における
2022 年 Chihshang 地震の余効変動

#石丸雄理*, 高田陽一郎
Kuo-En Ching, Wu-Lung Chang

44 15:45-16:00

西南日本における非弾性変形インバージョンを用い
地殻変形構造の推定

#伊藤武男

45 16:00-16:15

ハイパス・フィルタリングによる電子基準点の局所的
な変位の検出(2)

#藤原智

46 16:15-16:30

GNSS 搬送波位相直接補正によるマルチパスノイズ
低減手法の開発

#伊藤嘉秋*, 太田雄策

-休憩-

坪井賞授賞式・記念講演 (16:45-18:00)

座長: 小林知勝

○ 坪井賞授賞式

坪井賞記念講演 17:00-18:00

47 個人賞

地震学的要素を取り入れた測地学研究の新展開

#三井雄太

48 団体賞

PIXEL (PALSAR Interferometry Consortium to Study
our Evolving Land surface)による国内の SAR 利用研
究の拡大

#古屋正人, 青木陽介, 小澤拓, 田中明子, 福島洋
安藤忍, 高田陽一郎, 奥山哲, 木下陽平

懇親会 (19:00-21:00)

2024 年 11 月 1 日(金)

SAR・地球回転 (9:00-10:45)

座長: 木下陽平, 森下遊

49 9:00-9:15

MAI によるスプラディック E の微細構造の検出と TEC
分布の推定

#古屋正人, 藤本達也, 日置幸介

50 9:15-9:30

2024 年最新の地磁気嵐における GNSS-TEC と SAR
アジマスオフセットによって検出された電離層のシグ
ネチャ: インドネシア地域

#Ihsan Naufal Muafiry, Masato Furuya

Prayitno Abadi

51 9:30-9:45

稠密 GNSS 観測点を用いた InSAR 中性大気遅延補
正の試験的結果

#木下陽平

52 9:45-10:00

シベリア北東部チェルスキー近郊の森林火災跡にお
ける地表変位の InSAR による検出

#近田茉莉花*, 古屋正人

53 10:00-10:15

Weakened Permafrost's Resilience to Wildfires by
Recent Heat Anomalies: A Case of Accelerated Post-
wildfire Ground Subsidence Detected by InSAR in
North Canada

#Zetao Cao*, Masato Furuya

54 10:15-10:30

リピートパス干渉 SAR を利用した標高変化計測

#森下遊, 藤原敬三

55 10:30-10:45

極運動データのみを用いた Q 値の上限の拘束

#山口竜史*, 古屋正人

-休憩-

GNSS(2)・テクトニクス(3) (11:00-12:30)

座長: 古屋智秋, 上田拓

56 11:00-11:15

標高基準点としての GEONET 電子基準点と年周変動

#島田誠一, 藤井綾香, 田部井隆雄, 多田吉成 伊藤広和, 里村幹夫	62 13:45-14:00 三次元網平均における GNSS 基線解の RMSE の距離依存性
57 11:15-11:30 全国の標高成果の改定に向けた新標高成果の計算 #古屋智秋, 井上武久, 針間栄一郎 岩下知真子, 高木悠	#黒石裕樹, 田中博幸, 村上真幸 63 14:00-14:15 MADOCA における衛星姿勢情報出力機能の実装と高精度単独測位への効果 #加藤武蔵, 梶原延浩, 遠藤邦治, 河手香織 五十嵐祐貴, 佐々木俊崇
58 11:30-11:45 「ジオイド 2024 日本とその周辺」の公開と標高改定に期待するもの #田部井隆雄, 多田吉成, 庭野基, 相京幸一 森永貴之, 伊藤広和, 島田誠一, 里村幹夫	64 14:15-14:30 国際 GNSS 事業(IGS)への精密暦提供に向けた複数 GNSS 対応高精度軌道時刻推定ツール(MADOCA)の改良 #一ノ宮健人, 川島陽, 加藤武蔵, 梶原延浩 遠藤邦治, 秋山恭平, 河手香織, 五十嵐祐貴 佐々木俊崇
59 11:45-12:00 アラビア半島の GNSS 局が冬季沈降する二つの原因 #日置幸介, ムハマド・ウスマン	65 14:30-14:45 高知大学朝倉キャンパスにおける衛星測位 #大久保慎人, 山品匡史, 田部井隆雄
60 12:00-12:15 Objective estimation of strain rate field in and around the Balkans #Taku Ueda, Anne Socquet, Marianne Métois Tomohisa Okazaki, Takuya Nishimura	66 14:45-15:00 GNSS 観測で得られた 2020 年と 2023 年の白瀬氷河の流動 #青山雄一, 大川翔太郎, 瓢子俊太郎, 土井浩一郎 -休憩-
61 12:15-12:30 2016 年熊本地震の本震と余効すべりの駆動機構の定量的関係 #MENESES-GUTIERREZ Angela, 齊藤竜彦	
<u>昼休み</u> (12:30-13:45) <u>学生による講演会優秀発表賞選考会議</u> (12:40-13:20)	<u>計測</u> (15:15-16:45) 座長: 瀧口博士, 村上真幸
<u>GNSS(3)</u> (13:45-15:00) 座長: 黒石裕樹, 大久保慎人	67 15:15-15:30 Omni-SLR の開発(1)プロジェクトの状況と光学・追尾系 #大坪俊通, 荒木博志, 横田裕輔, 河野賢司 小林美穂子, 青山雄一, 松本岳大, 中島潤一

古居晴菜, 本田昌樹, 栗原忍

ポスター発表

掲示可能期間: 10月30日 9:00~10月31日

68 15:30-15:45

光格子時計を用いた VLBI 試験

#寺家孝明, 牛島一朗, 高本将男, 香取秀俊
市川隆一, 青木陽介, 瀧口博士, 田中愛幸
田村良明, 小山友明, 山内彩

コアタイム 2024年10月31日(木)

(13:20-14:45)

P01 PyMC を用いた数値シミュレーションによる
GNSS-A の海中音速場モデリング評価

#中村優斗, 石川直史, 渡邊俊一
横田裕輔, 永江航也

69 15:45-16:00

自由空間光通信による周波数比較実験

#瀧口博士, 末正有, 藤枝美穂, 大坪俊通, 高山佳久

P02 GNSS-A 海洋学によって SGO-A で検知される
大局的な海洋場と変動する内部波

#横田裕輔, 石川直史, 渡邊俊一
中村優斗, 永江航也

70 16:00-16:15

地盤変動情報(JISLaD)の実際の測量への応用(そ
の4)ダイナミック座標のための時間変化を求める方
法について

植田伸一, #里村幹夫, 島田誠一, 末野幹雄
多田吉成, 藤井綾香, 田部井隆雄, 伊藤広和
庭野基, 相京幸一, 中川雄二, 工藤智幸
長谷部行生, 永井隆一

P03 気象庁数値気象モデルを用いた GNSS 対流圏
遅延補正の精度評価

#奥山哲, 安藤忍, 新堀敏基, 鬼澤真也

71 16:15-16:30

測量の品質管理へのシューハート管理図の適用

#村上真幸, 成田次範, 藤田晃輔, 栗原淳
石井諄, 中山剛, 田中博幸

P04 NICT 小金井における宇宙測地基準点のローカ
ルタイ報告

#関戸衛, 森永貴之, 里村幹夫
中園純一, 市川隆一, 國森裕生

72 16:30-16:45

新中川地震地殻変動観測施設の機器設置作業とデ
ータについて

#山口照寛, 高橋浩晃, 高田真秀, 一柳昌義
岡田和見, 竹内大登, 笠原稔

P05 NICT 光原子時計の重力赤方偏移に起因する不
確かさ軽減とその定量的評価に向けた測地観測その
4

#市川隆一, 関戸衛, 井戸哲也

P06 石岡 VLBI 観測施設における RFI 調査

#石垣真史, 古居晴菜, 堀草子, 橋本果歩
松本紗歩, 本田昌樹, 栗原忍

学生による講演会優秀発表賞受賞者
発表・閉会宣言 (16:45-17:00)

P07 水蒸気ラジオメータ兼広帯域 VLBI 受信機の試
験

#氏原秀樹, 市川隆一, 今井裕, 小山友明, 寺家孝明

- P08 Omni-SLR の開発(2)タイミング計測とデータシステム
#河野賢司, 横田裕輔, 大坪俊通
荒木博志, 小林美穂子
- P09 ALOS-2 サブバンド間アジマスオフセットによる電離層擾乱の検出
#森下遊, 杉本隆, 神山徹, 堤千明
- P10 干渉 SAR における積雪の影響:永久凍土帯での事例
#阿部隆博, 岩花剛, 甘田岳, 飯島慈裕
- P11 干渉 SAR を用いた広域の危険斜面抽出の基礎研究-能登半島での例-
#平田諒次, 安藤伸, 福田晴花, 長縄和洋
- P12 富士山における超伝導重力計 iGrav#003 によるテスト観測について
今西祐一, 池田博, #本多亮, 三浦哲, 名和一成
西山竜一, 風間卓仁, 若林環, 山本圭吾
- P13 小型絶対重力計 TAG-1 の野外観測へ向けた改良と系統誤差評価 II
#新谷昌人, 風間卓仁, 西島潤, 奥野淳一
青山雄一, 葛西恵介, 吉田真人, 坪川恒也
- P14 軌道高度の段階的降下によるフォボス重力場推定精度の改善シミュレーション
#山本圭香, 松本晃治, 池田人, Julien Laurent-Varin
Jean-Charles Marty, 荒木博志
- P15 JAMSTEC 船上重力計公開データの再整備
#永木晴美, 森岡美樹, 坂本雅子
川上創, 福田和代
- P16 AAR 法を適用した SGO-A 測位解
#永江航也, 横田裕輔, 渡邊俊一
石川直史, 中村優斗
- P17 k-Shape 法による GNSS-A 音響波形のクラスタリング
#渡邊俊一, 永江航也, 横田裕輔
石川直史, 中村優斗
- P18 海底間音響測距による根室沖千島海溝海溝軸近傍における地殻変動の評価
#松本祥太郎*, 木戸元之, 日野亮太, 太田雄策
- P19 東北大学における GNSS・地殻変動連続観測ナレッジベースの発展
#出町知嗣, 海田俊輝, 鈴木秀市
佐藤真樹子, 太田雄策, 三浦哲
- P20 深発地震の余効変動に現れる上部マントル粘性不均質:空間パターンの数値実験
#三井雄太, 溝田霧斗, 大館未来
- P21 活断層データを用いた日本列島の長期変形分布の推定
#玉置あい*, 鷺谷威
- P22 喜界島の完新世海岸段丘の数値シミュレーション:地震発生時期と地形変動の相互作用に基づく地殻変動史の解明
#神谷猛*, 伊藤武男
- P23 季節調整プログラム PySTEL の開発と GNSS データへの適用
#岡田悠太郎, 上田拓

- P24 沈み込み帯の変位の食い違いモデルに基づく中央沈降帯の形成メカニズム
#西沢貴志*, 深畑幸俊
- P25 CSESS の稠密 GNSS 観測網でみる東北地方の地殻ひずみ分布の予察的成果
#大館未来*, 太田雄策, 大園真子
- P26 GNSS データを用いた日向灘におけるプレート間固着状況の推定
#小松理子*, 西村卓也, 松島健, 廣瀬仁
- P27 南海トラフにおけるプレート境界および分岐断層上の地震時すべりの同時推定に関する検証
#山田太介*, 太田雄策
- P28 2022 年 MW7.0 台湾池上地震による台東縦谷断層のクリープ滑りへ影響
#村瀬雅之, 松多信尚, 石山達也, 中山裕則
額賀悠成, Cheng-Hong Lin, Wen-Shan Chen
Jiun-Yee Yen, J. Bruce H. Shyu, Ruey-Ren Lin
西川由香, I-Chin Yen, Fajar Rizki Widiatmoko
- P29 令和六年能登半島地震によって生じた重力変化を解釈する開口成分を持つ断層モデルの構築
#押田真紀*, 田中愛幸
- P30 2011 年 M9 東北沖地震における地震時および地震後の重力変化パターン～GRACE 観測と粘弾性変位理論に基づいて～
#葛莉麗*, 田中愛幸
- P31 地震後重力変化の時定数の空間分布
#田中優作
- P32 2016 年熊本地震の前後における地殻変動の変化
#信川昂太郎*, 鷺谷威
- P33 2014 年紀伊水道スロースリップイベントの時期における GNSS 測位解の比較
#岡田望海*, 三井雄太
- P34 多孔質弾性変形を考慮した火山浅部の地盤変動モデリング
#成田翔平, 大倉敬宏
- P35 Bridging Past Geological Records and Future Engineering Applications through Modern Geodetic Technologies
#Kuo-En Ching, Kwo-Hwa Chen, Shih-Han Hsiao
Ray Y. Chuang, Song-Chuen Chen, Ming Yang
Pei-Ching Tsai, Wu-Lung Chang, Ruey-Juin Rau
Chien-Liang Chen

日本測地学会公開講座

大和ミュージアムと日本測地学会によるコラボレーションイベント

「測る」を体験し、科学する公開講座

呉市海事歴史科学館



場所: 呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム

対象: どなたでも (予約不要)

◎1階 ガイダンスルーム 【無料】 10月16日(水)～11月4日(祝・月)

研究パネル・貴重海図の展示, 動画放映

日本測地学会の関係機関による最新研究等の紹介

◎3階 シアター 【無料】 11月2日(土) 10:00～11:30 13:00～14:30

10分間ずつのリレー式講演会

服部晃久(国土地理院), 山中雅之(国土地理院), 松本一史(海上保安庁海洋情報部), 石川直史(海上保安大学校), 鷺谷威(名古屋大学), 太田雄策(東北大学), 山本圭香(国立天文台), 松本晃治(国立天文台), 青山雄一(国立極地研), 横田裕輔(東京大学)

◎3階 展示室 【要入館料】 11月2日(土) 10:00～15:00

子どもも楽しめるスタンプラリー式の体験イベント

賛助会員展示

講演会の休憩時間等で賛助会員のうち希望された企業・団体により動画の放映を行います。

出展企業・団体（申し込み順）:

- ソフトバンク株式会社 <https://www.softbank.jp/biz/services/analytics/ichimill/>
- イネーブラー株式会社 <https://www.enabler.co.jp>

会場案内

講演会会場:

呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム

<https://yamato-museum.com/>

ビューポートくれ

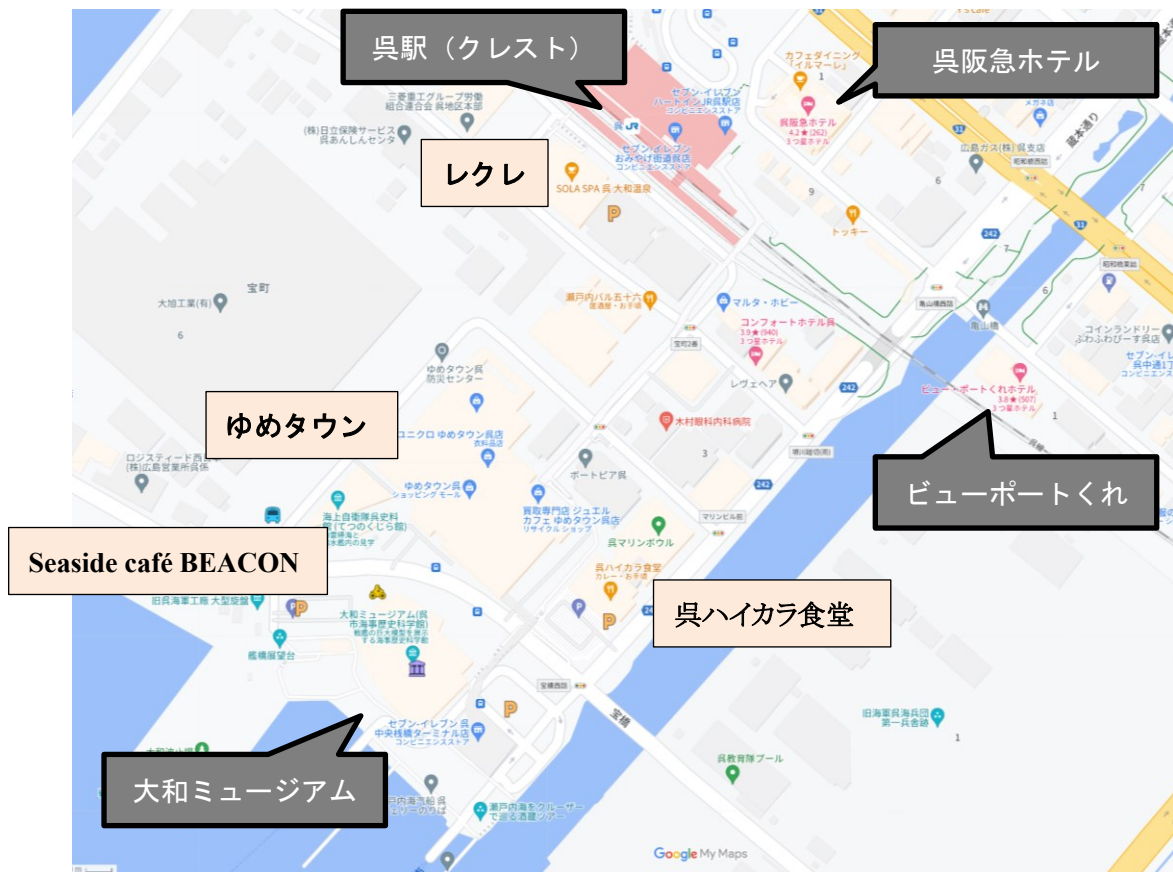
<http://www.viewportkure-hotel.or.jp/>

講演会会場アクセス:

(大和ミュージアム) 呉駅から徒歩8分, (ビューポートくれ) 呉駅から徒歩5分

懇親会会場: 呉阪急ホテル 4F「皇城の間」

<https://www.hankyu-hotel.com/hotel/hh/kurehh>



(飲食店)

地図内を参照

他店舗の案内:

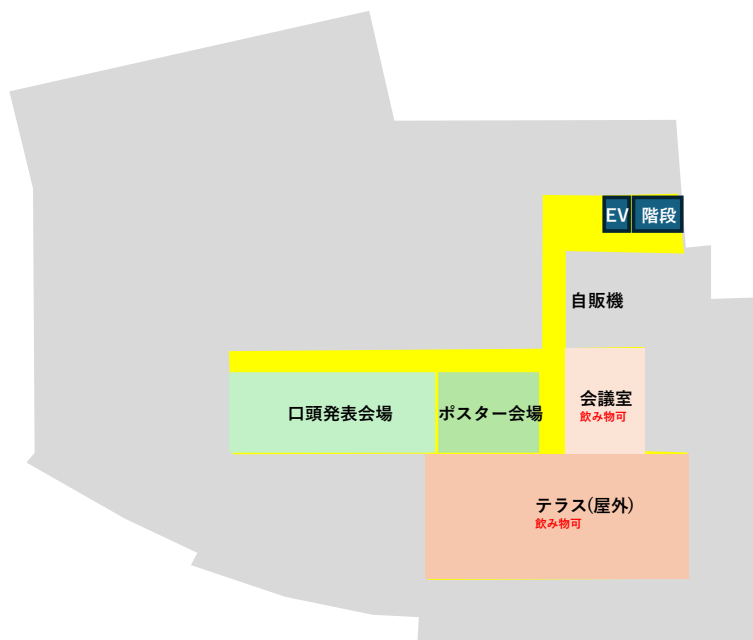
“呉のおいしいBook” <https://kuremachidiary.jp/place/3584/#gsc.tab=0>

大和ミュージアム館内図

1 階



4 階





The Geodetic Society of Japan